

千 曲 川 下 流 森 林 計 画 区

第 五 次 国 有 林 野 施 業 実 施 計 画 書

計画期間 自 平成27年 4月 1日
至 平成32年 3月31日

中部森林管理局

この国有林野施業実施計画（以下「本計画」という。）は、国有林野管理経営規程に基づき、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即し、森林管理局長が森林計画区域内の管理経営する国有林野の箇所別の伐採、更新等について5年ごとにたてる5年間の計画である。

この本計画の計画期間は平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間である。

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法 及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養 ^{かん} タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養 ^{かん} タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	5
(6)	保育総量	5
3	林道の整備に関する事項	6
4	治山に関する事項	7
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	8
(1)	保護林の名称及び区域	8
(2)	緑の回廊の名称及び区域	11
6	レクリエーションの森の名称及び区域	12
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域等	22
8	その他必要な事項	
(1)	施業指標林、試験地等	22
(2)	フィールドの提供	24
(3)	森林共同施業団地	25

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域
国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量
並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

施業型	施業群	面積 (ha)	施業の方法等		伐期齢 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
単層型 (短期)	小面積分散伐区	1,990.48	育成単層林施業	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時にモザイク的配置となることで、林齢、林相が異なる多様な森林。	スギ 60 ヒノキ 75 カラマツ 60 アカマツ 75
	(長期) 長伐期	1,726.56	育成単層林施業	主伐を標準伐期齢のおおむね2倍以上の林齢において行い、成長の旺盛な時期から主伐までの間に成長に応じた間伐を繰り返し、下層植生の発達した森林。	スギ 120 ヒノキ 150 カラマツ 100
複層型	人工林複層伐	203.61	育成複層林施業	人工林において、複層伐により部分的に伐採し、人為により複層林化を図った複数の樹冠層を構成(階層構造)する森林。	スギ 120 [60] ヒノキ 150 [75] カラマツ 100 [60]

施 業 型	施 業 群	面 積 (ha)	施 業 の 方 法 等		伐期齢 又 は 回帰年
			施業方法	目 標 と す る 森 林	
漸 伐 複 層 型	天然林漸 伐複層型	451.29	育成複層林施業	天然林において、漸伐により部分的に伐採し、人為的あるいは天然力により複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	N 200 L 180
択 伐 複 層 型	人工林択 伐複層型	717.76	育成複層林施業	人工林又は天然林において、択伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力により複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	N 95 (35)
	天然林択 伐複層型	1,099.63	天然生林施業		N 200 (35) L 180 (25)
そ の 他		36.33	試験地等の設定目的による。		
合 計		6,225.66			

(注) 1 林地以外の土地の面積は含まない。

2 []は複層伐における初回伐採の伐期齢、()は回帰年である。

(3) 水源涵養^{かん}タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位 : ha)

施 業 群	上 限 伐 採 面 積
小 面 積 分 散 伐 区	132.70
長 伐 期	57.55
人 工 林 複 層 伐	16.55
漸 伐 複 層 型	11.30
択 伐 複 層 型	259.65

(注) 1 上限伐採面積は、計画期間（5年）分の面積である。

2 契約に基づいて主伐を実施する分収林が含まれる場合は、上限伐採面積を超えて定めることができる。

(4) 伐採総量

(単位: m³, ha)

区 分		林 地					林 地 以 外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	計		
山 地 災 害 防 止 タ イ プ	土砂流出崩壊防備		(300.55) 23,365	23,365				
	気 象 害 防 備	3,577	(47.11) 4,592	8,169				
	計	3,577	(347.66) 27,957	31,534				
自 然 維 持 タ イ プ								
森 林 空 間 利 用 タ イ プ			(274.74) 25,713	25,713				
快 適 環 境 形 成 タ イ プ								
水 源 かん 漕 養 タ イ プ	小面積分散伐区	68,981	(449.03) 47,605	116,586				
	長 伐 期		(339.71) 37,761	37,761				
	人 工 林 複 層 伐	2,846	(47.39) 4,823	7,669				
	人工林択伐複層型		(140.30) 12,909	12,909				
	そ の 他		(5.58) 507	507				
	計	71,827	(982.01) 103,605	175,432				
合 計		75,404	(1,604.41) 157,275	232,679	28,121	260,800		260,800
年 平 均		15,081	(320.88) 31,455	46,536	5,624	52,160		52,160

(注) () 書きは間伐面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位 : m³)

市 町 村 名	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	計		
長 野 市	15,196	55,467	70,663				
須 坂 市							
飯 山 市	2,785		2,785				
高 山 村							
山 ノ 内 町							
木 島 平 村	2,602	19,138	21,740				
野 沢 温 泉 村	3,515	5,189	8,704				
信 濃 町	46,657	63,704	110,361				
飯 綱 町	2,529	3,358	5,887				
栄 村	2,120	10,419	12,539				

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位 : ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 ^{かん} タイプ	合 計
人 工 造 林	単 層 林 造 成					94.50	94.50
	複 層 林 造 成	3.37				4.82	8.19
	計	3.37				99.32	102.69
天 然 更 新	天然下種第1類						
	天然下種第2類						
	計						
合 計		3.37				99.32	102.69

(6) 保育総量

(単位 : ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 ^{かん} タイプ	合 計
保 育	下 刈	13.19				385.12	398.31
	つる切	42.75				74.01	116.76
	除 伐	60.95		42.62		103.91	207.48

3 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基 幹・ その他別	開設・ 改良別	路 線 名	対象林班・箇所数		延 長	備 考
基 幹	開 設	鳥居川戸隠	1033	1箇所	1,000	
		計		1箇所	1,000	
	改 良	温井野々海	163～166	5箇所	200	
		北志賀	153～156	5箇所	150	
		極野	124～126	3箇所	60	
		馬曲鳥甲	119～122	1箇所	50	
		馬曲鳥甲	142～146	1箇所	50	
		御巢鷹	1002～1012	7箇所	140	
		黒姫種池	1018～1023	3箇所	90	
		中津川	12, 13	1箇所	20	
		鳥居川戸隠	1036	1箇所	15	
		上楠川東	1047	1箇所	20	
		上楠川西	1049	2箇所	20	
		計		30箇所	815	
そ の 他	開 設	西ノ入	1072, 1073	1箇所	1,000	
		大持	151	1箇所	2,000	
		長俣沢	64	1箇所	1,600	
		ブナの木	115	1箇所	1,225	
		四ノ宮支線	149	1箇所	700	
		黒姫	1015, 1016	1箇所	1,080	
		湯の入種池	1017	1箇所	700	
		村松	1070	1箇所	1,000	
		村松支線	1070	1箇所	300	
		殿沢	1033	1箇所	1,200	
		赤野田	1076	1箇所	1,000	
		四ノ宮	149	1箇所	1,000	
		計		12箇所	12,805	
	改 良	朴ノ木沢	130～133	1箇所	20	
		樽川	155	1箇所	30	
		西ノ入	1073～1075	4箇所	100	
		赤野田	1076	2箇所	40	
		村松	1072	3箇所	120	
		檜俣川	14, 15	7箇所	230	
		佐渡山	1001	1箇所	60	
		木島山	57	1箇所	10	
		大沢	133	1箇所	20	
		計		21箇所	630	
合 計		開 設		13箇所	13,805	
		改 良		51箇所	1,445	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

4 治山に関する事項

(単位：保全施設 箇所，保安林の整備 ha)

位 置	区 分	工 種	計 画 量
栃川，魚野川，切明，野々海川，馬曲川，渋沢， 上楠川，関川，下楠川	保 全 施 設	溪 間 工	9
中条川，旭山	保 全 施 設	山 腹 工	2
千曲川下流計画区管内の保安林区域内	保 安 林 の 整 備	保安林 改 良	350.77
計	保 全 施 設	溪 間 工	9
		山 腹 工	2
	保 安 林 の 整 備	保安林 改 良	350.77

(注) 1 保全施設の計画量「箇所数」は「単位流域」数を表す。

2 位置は単位流域を表す。

3 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

ア 森林生態系保護地域

名 称	新・既別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
佐武流山周辺	既設	保存地区 5, 200. 45	20林班, 21ろ・は・ほ・ハ 22は・ニ・23林班 24い・ハ〜チ, 25林班 26い, 29い 31い・ろ・イ・ロ 32い〜に・イ 33い・ろ・ほ・り・る・わ・イ・ハ・ニ 34い〜に・イ〜ニ, 35林班 36い〜は 37い・ロ・ハ〜リ, 38い・ろ 39い・ろ, 40い〜ほ・か 41い〜は, 42い〜に・ハ〜ち 43い〜に・ハ・ロ・ハ・ホ・ハ 44い〜と・ロ〜ニ, 45林班 46い, 47い・に・ほ・イ・ハ	長野県北東部及び新潟県南部に位置し、日本海側の森林植生から太平洋側の森林植生への推移帯にあたる原生的な森林の生態系を、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資するために、保護する。	保存地区の森林については、原則として人手を加えずに自然の推移に委ねる。 保全利用地区については、木材生産を目的とする森林施業は行わない。 なお、人工林を含む場合は、複層林施業等を行うことができるものとする。 細部については、「佐武流山周辺生態系保護地域計画」により行う。
		保全利用地区 3, 638. 80	16い〜は・イ, 17ろ・イ〜ホ 18ろ・イ, 19林班 21い・に 22い・ろ・に・イ〜ハ 24ろ・イ〜ホ・リ 26ろ・は・イ 27林班, 28林班 29ろ〜に・イ, 30林班 31は〜ほ, 32ほ・ハ 33は・に・ハ〜ち・ぬ・ロ・ホ 34ほ, 36に 37ろ〜に・イ・ハ〜ホ・ヌ〜タ 38は, 39は・に 40ハ〜る・わ・イ 41に・ほ・イ・ロ, 42ほ・イ 43ほ・イ・ニ, 44イ 46ろ・は・イ 47ろ・は・ハ〜ち・ロ・ニ 48林班, 49林班		
面積計		8, 839. 25			

イ 林木遺伝資源保存林

名 称	新・既別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
カヤノ平ブナ	既設	36.54	53ち 54た	日本海型の典型的な ブナ天然林を遺伝資源 として保存する。	原則として伐採は 行わない。 ただし、保存対象 樹種の安定的かつ恒 久的な存続を図るた めに必要な場合は、 枯損木及び被害木の 除去を中心とした弱 度の択伐を行う。 更新は、天然更新 とする。
戸隠ハルニレ等	既設	42.43	1046へ2・と・ぬ	戸隠森林植物園内に 生育するハルニレ等を 遺伝資源として保存す る。	
面積計		78.97			

ウ 植物群落保護林

名 称	新・既別	面 積 (ha)	特 徴 等	施 業 等
カヤノ平ブナ	既設	244. 35	典型的な日本海型の ブナ植物群落を保護する。	原則として、人手を加えずに自然の推移に委ねた保護管理を行う。 保護対象の維持・管理に対して必要と認められるときには、更新補助作業又は保育作業を行う。
苗場山湿原	既設	1, 151. 34	我が国でも有数な高層湿原植物群落であり 周辺森林と合わせて保護する。	湿原における施設の整備は、土地の復元力が極めて弱い地域であるため、現施設程度に止めるよう配慮するとともに、 湿原地の保護に努める。
小菅山ヒメコマツ	既設	21. 04	学術的にも重要であるヒメコマツ天然林群落を保護する。	原則として人手を加えず自然の推移に委ねた保護管理を行う。
佐渡山スギ	既設	0. 67	海拔1, 500mの豪雪地帯に生育するスギ天然林群落を保護する。	
笠山ネズコ	既設	4. 29	貴重なネズコ天然林群落を保護する。	
面積計		1,421. 69		

エ 特定動物生息地保護林

名 称	新・既別	面 積 (ha)	特 徴 等	施 業 等
戸隠野鳥	既設	137.38	戸隠山麓付近一帯に生息するコガラ、ヒガラ等豊富な野鳥類の生息地を保護する。	スギ、カラマツ人工林については、現地の実態を踏まえ必要に応じ、つる類の保存、実のなる木の植え込み、混交林の造成等多様な林分構成のための森林整備を行い、野鳥の繁殖、生息しやすい環境づくりに努める。
米子大型鳥類	既設	1,153.02	全国的に生息数の少ない国内希少野生動物種の生息地を保護する。	治山施設の整備に当っては、生息に支障のないような時期、工種、工法等を採用する。
面積計		1,290.40		

オ 特定地理等保護林

名 称	新・既別	面 積 (ha)	特 徴 等	施 業 等
月夜立	既設	175. 80	切立った断崖状の景観を成す特異な地形を保護する。	地形・地質等の特性を踏まえ、原則として森林施業は行わない。
鳥甲山	既設	1, 118. 94	北東面に両翼を広げたような断崖をもつなど、特異な山岳地形の続く鳥甲山一帯を保護する。	
笠ヶ岳	既設	180. 12	笠型の特徴ある山容を呈する独立峰笠ヶ岳の地形・地理を保護する。	
戸隠山	既設	1, 672. 54	起伏がはげしく、岩壁窪地など特異な山岳地形を呈する一帯を保護する。	
面積計		3, 147. 40		

カ 郷土の森

名 称	新・既別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
鍋倉山	既設	21.30	170いり	地元飯山市の「市の木」として指定されているブナの天然林を、郷土の象徴として保護する。	自然の推移に委ねる管理又は現状の維持に必要な森林施業を行うことを基本とし、具体的にはそれぞれの保護・管理・利用計画書により行うものとする。
大ブナ	既設	10.20	150り	古くから大ブナと呼ばれるブナの天然林を郷土の象徴として保護する。	
上の平	既設	14.39	130り	上の平一帯のブナの天然林を郷土の象徴とし保護する。	
毛無山	既設	23.28	129つ	毛無山一帯のブナの天然林を郷土の象徴とし保護する。	
面積計		69.17			

(2) 緑の回廊の名称及び区域

名 称	新・既別	延 長 (km)	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
緑の回廊 雨飾・戸隠	既設	6.2	1,808.34	1056い・ろ 1057い 1058い～は 1059い～ほ 1060林班 1061林班 1064～1066林班	<p>緑の回廊設定区域は、戸隠山特定地理等保護林から中部山岳森林計画区にまたがり、野生動物の日常行動や季節移動等の経路をつくることにより、分断された個体の交流を促す等、森林生態系の構成者である野生動植物の多様性の保全を図ることを目的とする。</p> <p>林況は、ブナ等の広葉樹天然林が大半を占めている。</p> <p>施業については「緑の回廊雨飾・戸隠設定方針」による。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>千曲川下流 : 1,808.34</p> <p>中部山岳 : 1,983.75</p> <hr style="width: 80%; margin: 0;"/> <p>計 3,792.09</p> </div>					

6 レクリエーションの森の名称及び区域

(1) 自然休養林

名 称	新・既別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選 定 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
カヤの平	既設	1,454.78	ゾーン区分別の林小班一覧表のとおり。	自然探勝、野外スポーツ、ハイキング等の利用に供され林内の歩道等の整備もされており、保健文化的利用の適地である。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道 (国) ・ 野営場 (国・木島平村) ・ 園地 (木島平村・国) ・ 宿泊施設 (木島平村) ・ 植物園他 (国・地方公共団体) ・ 運動場 (木島平村) 		

カヤの平自然休養林のゾーン区分別の林小班一覧表

ゾーン区分	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然観察教育ゾーン	240.17	59ろ	育成複層林施業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園地 (木島平村) ・ 歩道 (国) ・ 北ドブ湿原植物園 (国・地方公共団体) 		
		59へ・と・ぬ 152ろ・に・ち	天然生林施業			
		59ロ・ハ・ニ	林地以外			
森林スポーツゾーン	55.95	153ぬ	育成複層林施業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野営場 (国・木島平村) ・ 宿泊施設 (木島平村) ・ 自然教育園 (国・地方公共団体) ・ 南ドブ湿原植物園 (国・地方公共団体) ・ 歩道 (国) ・ 運動場 (木島平村) 		
		152ほ 153ろ	天然生林施業			
		152イ・ホ, 153イ・リ	林地以外			
風 景 ゾ ー ン	826.69	59ち・り・た, 60れ・う・く・や・け・こ・え・あ, 150へ・ぬ・る・わ・か 151ぬ・け・え・あ・め, 152い・へ 153に・と・よ・れ・そ・む・う・お・み・ひ	育成複層林施業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園地 (国) ・ 歩道 (国) 		
		59ほ, 153ち・た・つ・の, 154る・よ 155よ	天然生林施業			
		59イ, 60イ・ロ	林地以外			

ゾーン区分	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	施業方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
風致探勝ゾーン	331.97	153わ・か・な・し, 154と・り・わ・か 155と・ね	育成複層林施業	<ul style="list-style-type: none"> ・園地（木島平村） ・自然教育園 （国・地方公共団体） ・歩道（国） 		
		152は・と, 153り・る, 154ち・ぬ 155る・か・た・な	天然生林施業			

名 称	新・既 別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
戸隠・大峰	既設	2,623.60	ゾーン区分別 の林小班一覧表 のとおり。	山岳、高原、池、 湿地、動植物等の保 健休養資源が豊富か つ、まとまりがあ り、スキー、キャン プ、登山、自然探勝 等の利用施設も整備 されており森林レク リエーションの場と して利用者が多い。		<ul style="list-style-type: none"> ・歩道（長野市） （国・地方公共団体） ・野営場 （長野市・民間） ・スキー場 （長野市） ・園地 （国・地方公共団体） ・植物園 （国・長野県） 		

戸隠・大峰自然休養林のゾーン区分別の林小班一覧表

ゾーン区分	面積 (ha)	位置 (林小班)	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然観察教育ゾーン	269.75	1028につな 1046い・ろ・に・ほ・ち・り・る・わ・か・れ・ ね・む・う・お・け	育成複層林施業	<ul style="list-style-type: none"> 歩道（長野市） （地方公共団体） 園地 （国・地方公共団体） 植物園 （国・長野県） 		
		1028ほ・と・わ・ね 1046は・へ1・へ2・と・ぬ・よ・た・そ・つ・ なら	天然生林施業			
		1028ト 1046イ・ハ	林地以外			
森林スポーツゾーン	35.28	1030そ	育成複層林施業	<ul style="list-style-type: none"> 歩道（長野市） （国・地方公共団体） 野営場 （長野市） 		
		1028れ・そ	天然生林施業			
		1028イ・ハ・チ 1030イ・ト	林地以外			
野外スポーツゾーン	402.42	1029ち・ぬ・る1・る2・わ・た・の・や・こ・ ん3・ん5・ん6 1045お・ま・こ・み・ひ・せ・ん1・ん2	育成複層林施業	<ul style="list-style-type: none"> 歩道（長野市） （国・地方公共団体） スキー場 （長野市） 園地 （国・地方公共団体） 		
		1029そ・つ・な・う・え・す・ん1・ん2・ん4・ ん7, 1031れ・つ・ら・む 1032リ, 1034け 1045の・く・や・え・め・し・す・ん3・ん4・ん5	天然生林施業			
		1029イ・ハ 1030ヌ 1031ロ・ニ 1034イ 1045イ・チ	林地以外			

ゾーン区分	面積 (ha)	位置 (林小班)	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
風景ゾーン	1,285.39	1024り 1029り	育成単層林施業	・ 歩道 (国・地方公共団体)		
		1024ほ・へ1～へ3・と1・と2・り1～り6・ぬ・ ら・む1・む2・の1・の2・お・く1・く2・や・ま・ふ・ こ1・こ2・え1～え3・て・さ・め・み・し1～し3・ ん3・ん6, 1025は・に 1026いろ・に・へ・ぬ・わ・ね・ら・む・し・ ひ, 1029へ1～へ3・へ5・ま・ふ 1030り・ぬ・わ・な・む 1031に・ほ・る・な	育成複層林施業	・ 園地 (国・地方公共団体)		
		1022お・や, 1023つ・ね 1024ち・わ・そ・つ・き・ゆ・す・ん5 1025いろ・ほ・へ 1026は・と・り・る・な 1027ほ, 1028ぬ・る 1029ほ・れ・け, 1030へ・ち・る・ら 1031と・り・わ・た	天然生林施業			
		1024へ・ト・ヌ・ヨ, 1025イ 1030チ・リ	林地以外			
風致探勝ゾーン	630.76	1024ろ1～ろ11・た・れ・う・せん1・ん4 1027い, 1028ろ, 1029いと 1030いろ・ほ・か・れ・う 1031は・ぬ・ね	育成複層林施業	・ 歩道(長野市) (国・地方公共団体)		
		1024いは・に・る・か・よ・け・ひ・も・ん2 1027ろ・に 1028いは・ち・り・か・た 1029ろ・に, 1030は・に・つ・の 1031いろ・へ, 1069い・る・わ・な	天然生林施業	・ 野営場 (長野市・民間)		
		1024イ・ホ・チ・リ・ル・カ, 1027イ 1028ニ・へ, 1031イ, 1069イ・ト	林地以外	・ 園地 (国・地方公共団体)		

自然休養林面積再掲

名 称	新設・既設別	面 積 (ha)
カヤの平	既設	1,454.78
戸隠・大峰	既設	2,623.60
面積計		4,078.38

(2) 自然観察教育林

名 称	新・既別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選 定 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
御 鹿 池	既設	75.08	1013いほほぬ	黒姫野外スポーツ 地域に隣接する山麓 団地であり、周囲の スギ林等の森林と一 体をなし、静寂で魅 力ある森林であり、 近年森林浴等で訪れ る人が増加してい る。	育成複層林施業	・ 歩道 (信濃町)		
			-----		天然生林施業	・ 園地 (信濃町)		
			-----		林地以外	・ 資料館 (信濃町)		
面積計		75.08						

(3) 野外スポーツ地域

名 称	新・既別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設の概要	施設 整備	備考
野沢温泉	既設	272.64	129さ 130ろ・と・ち・る・わ よ・な・む・の・お・く ----- 128よ・ら 129ね・お・や・こ あ・き・め 130い・へ・ぬ・た・ね う・け・ふ 138ろ, 140わ ----- 129イ・ホ 130イ・ヌ 138イ・ニ	昭和36年に国設スキー場となり、隣接する野沢温泉街と一体となって利用者が訪れる。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・ 歩道 (野沢温泉村) ・ 運動公園 (野沢温泉村) ・ 野営場 (野沢温泉村) ・ スキー場 (野沢温泉村) ・ 園地 (民間)		
木島平	既設	252.78	157い・ほ・と・り・か よ・そ 158い・ろ・ほ・と・ち よ・そ・つ 159は・に・と・る・わ ----- 157へ・ち・ぬ・る・わ た・れ, 158は・に・へ り・る・か・た・れ ----- 157イ・ロ 158イ・ニ 159イ・ロ	昭和47年に国設スキー場となり、比較的交通条件が良く、また隣接地には宿泊施設等があり、多くの利用者が訪れる。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・ スキー場 (木島平村・民間) ・ 園地 (木島平村) ・ 運動施設 (木島平村) ・ 飲食施設 (木島平村)		
戸 狩	既設	211.91	172そ・お 173は ----- 172と・り・り・る・わ れ・ね・う・の・く・や 173い・ろ・ち・ぬ ----- 172イ・ロ 173イ・ハ	昭和44年に国設スキー場となり、比較的交通条件が良く多くの利用者が訪れる。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・ スキー場 (民間) ・ 歩道 (飯山市)		

名 称	新・既別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施 業 方 法	既存施設の概要	施設整備	備考
黒 姫	既設	119.41	1011ほ・と・ち・わ〜 れ・つ・ふ〜あ・ゆ 1012い・ろ・わ・か・ た・れ・れ・そ〜ね・な 〜な3・ら ----- 1011に・へ・ね・ら・ む・お〜け 1012へ・り〜る・よ・ む ----- 1011ロ・ハ 1012イ・ロ	昭和41年に国設スキー場として開設され、隣接地の別荘地、牧場、コスモス園等とあいまって、四季を問わず訪れる利用者が多い。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・ スキー場 (民間) ・ 園地 (民間)		
牟 礼	既設	219.74	1039い・〜になら・ や ----- 1039ほ・と〜わ・た・ れ・む〜く・ま〜し・も・せ ----- 1039イ・〜ニ	牟礼村上村開拓地の雄大な斜面を利用した国設スキー場であり、豊かな雪と眺望等の恵まれた観光資源と、交通条件がよく、多くの利用者が訪れる。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・ スキー場 (民間) ・ 歩道 (国・地方公共団体)		
飯 縄	既設	203.92	1041る・る10・よ〜 れ・ね・な・む・お〜あ・ゆ・ め・も・せ・ん1・ん3・ん4・ ん7, 1042へ〜ち・ ぬ・る・わ・か・れ・ら・く・ や・ふ〜て ----- 1041る11・ら・う・の・ さ・き・み・し・ひ・す・ん2・ ん5・ん6・ん8・ん9 1042に・り・よ・の・ ま・け・あ・さ ----- 1041イ・ニ〜へ 1042イ・〜ニ	昭和40年に国設スキー場として開設され、広い裾野、豊かな雪、長野市からの近距離等、整った条件が揃っており長野市民のスキー場として多くの利用者が訪れる。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・ スキー場 (長野市)		
面積計		1,280.40						

(4) 風景林

名 称	新・既 別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
小菅山	既設	66.75	141い	小菅山は山麓の北竜湖と一体をなし、良好な自然環境を呈しており、神社の背景林でもある美しい景観を呈している。	天然生林施業			
雑魚川	既設	183.72	52い, 53い, 54い 60い, 61い 62い, 63い, 64い ----- 54い, 61い	奥志賀スーパー林道及び上信越自然歩道周辺の森林で、ブナ、ナラ等の広葉樹天然林と雑魚川溪谷が一体となって優れた自然景観を呈している。	天然生林施業 ----- 林地以外			
朝日山	既設	112.75	1068ち・わな ----- 1068い・とり・る・か・ね ----- 1068い・ロ	長野市西部の旭山山頂部に位置し、城跡地や旭山観音があり市街地からの眺望は長野市のシンボルとなっている。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・ 歩道 (長野市) ・ 園地 (国・地方公共団体)		
木曽殿 アブキ	既設	18.80	1053い 1062に	木曽殿アブキ周辺の地域であり、洞窟や断崖の景勝地で、自然探勝や森林浴等の利用者が多い。	天然生林施業	・ 園地 (国・地方公共団体) ・ 歩道 (長野市)		
面積計		382.02						

(5) 風致探勝林

名 称	新・既別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設の 概要	施設 整備	備考
野々海池	既設	138.90	161リ 162かよ・ねく 163ろは・へと ----- 162イ〜ハ 163イ	キャンプ、ハイキングなどの利用者が多い地域であり、湖と一体となって風致探勝に適した地域である。	天然生林施業 ----- 林地以外	・ 歩道 (栄村) ・ 野営場 (栄村)		
斑 尾	既設	47.52	175にと・わよ ----- 175へ・か ----- 175イ	沼池と周辺森林の調和のとれた地域で利用施設の計画に適した地域である。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	・ 歩道 (飯山市) ・ 園地 (飯山市・斑尾高原観光協会)		
茶屋池	既設	42.68	169ぬ 170ほ ----- 170イ・ロ	火口湖として誕生した茶屋池周辺のブナを主とする天然林で、池と一体となった活用に適した地域である。	天然生林施業 ----- 林地以外	・ 歩道 (飯山市) ・ 園地 (飯山市)		
面積計		229.10						

(参考) レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法等

対象団地	面積 (ha)	位置 (林小班)	施業 方法	既存施設の 概要	施設 整備	備考
カヤの平	1,951.21	52ろはへと, 53ろりぬ, 54ろはりわ ~よ, 55ろへ, 56いはにち, 57いほほ, 58いにほりるわ~よれ 59ろか~よ 60ろとぬわよたのおまさき 61ろはへとぬるわ 62ろにとちり, 63ろにほと 64ろほちぬわ~たそ	育成複層林施業			
		54にほぬる, 55いはと 56ろほとちり, 57にへち 58ろはぬたそつ, 59いはにれ~つ 60ちりるかふて, 61にちり 62はほへぬる, 63は 64へとりるれつ	天然生林施業			
		52イロ, 64イロ	林地以外			
大次郎	392.05	121ろほと, 122ろはへ 123にへわ, 124はほ, 126へ	育成複層林施業			
		121はにへ, 122ほとち, 123ほと 124へち, 125よ, 126たそ~ね	天然生林施業			
巢鷹	156.67	127と~りつなら, 128れ~つ	育成複層林施業			
		127かれそね, 128ね	天然生林施業			
内山	51.23	141ちぬるわねら~うの	育成複層林施業			
		141か	天然生林施業			
鍋倉	105.25	170にとちぬ	育成複層林施業			
		170ろはへ	天然生林施業			
毛無山	91.66	138い	天然生林施業			
面積計	2,748.07					

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域等
該当無し。

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林・試験地等

種 類	名 称	設定年	面積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
施業指標林	ブナその他有用広葉樹天然林施業	S 59年度	5.21	61ろ	天然林施業体系の確立
	ブナ天然更新	H 5年度	2.23	60リ	漸伐施業実行箇所
試 験 地	キハダ等天然更新幼齢林保育	S 54年度	3.13	60ち	
	スギ耐雪性系統別	S 46年度	5.58	109た	
	ブナ成長固定試験	H 元年度	0.10	130ほ内	小班面積 18.22ha
	〃	S 63年度	0.10	146ち内	小班面積 12.32ha
	〃	S 63年度	0.10	152に内	小班面積 21.95ha
	富士里カラマツ産地	S 33年度	0.73	1038つ	森林総研
	〃	S 33年度	1.32	1038う	〃
	〃	S 33年度	0.67	1038の	〃
	富士里カラマツ人工林収穫	S 35年度	1.10	1036け	〃
	野沢スギ人工林収穫	S 36年度	1.09	135の	〃
	富士里スギ人工林収穫	S 37年度	1.50	1038い	〃
母 樹 林	特 4 5 - 1	S 45年度	0.67	1001ち	特別母樹林 (スギ)
展 示 林	北の入スギ耐雪性系統別試験	H 5年度	1.40	135な	
	黒姫山カラマツ施肥試験	H 5年度	0.88	1019は内	小班面積 26.71ha
	戸 隠 森 林 植 物 園	S 46年度	64.12	1046ろ・ほ・へ1・へ2・と・ち	
次代検定林	関長ー 4 3 (一 般)	H 3年度	0.66	136た・め	
	関長ー 1 7 (一 般)	S 49年度	2.07	1044き	
	関長ー 2 6 (地域差)	S 54年度	0.48	1035ら	
	関長ー 3 8 (遺 伝)	S 63年度	0.57	1034へ2	
遺 伝 子 保 存 林	長遺ー 8	S 44年度	2.00	144ち	(スギ)
	長遺ー 8	〃	2.50	141う	(スギ)

種 類	名 称	設定年	面積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
精 英 樹 保 護 林	スギ飯山 6 号	S 33年度	0.14	137に	
	スギ飯山 7 号	〃	0.10	137ほ	
	スギ飯山 8 号	〃	0.17	137へ	
	スギ飯山 9 号	〃	0.22	136そ	
	スギ飯山 10 号	〃	0.26	130ら	
	スギ飯山 11 号	〃	0.24	130む	
	スギ飯山 12 号	S 40年度	0.20	134ち	
	スギ飯山 13 号	〃	0.20	136ふ	
	スギ飯山 14 号	〃	0.10	135に	
	スギ飯山 15 号・16 号	〃	0.32	136っ	
	スギ飯山 17 号・18 号	〃	0.40	130う	
	スギ飯山 19 号	〃	0.24	130な	
	ヒメコマツ飯山 106 号外14	S 42年度	2.77	141は	
	スギ長野 2 号	S 33年度	0.02	1015ぬ	
	スギ長野 3 号	〃	0.07	1036せ	
	スギ長野 5 号	〃	0.09	1036も	
	スギ長野 6 号	〃	0.12	1036す	
	スギ長野 101 号	S 34年度	0.67	1001ち	
巨樹・巨木	ブナ（森太郎）	H 12年度		170リ内 (巨樹・巨木が存する林分)	通達「巨樹・巨木に係る自主的な保全活動の推進について」により選定
森 林 施 業 モ デ ル 林	育成単層林施業(針広混交林化)	H 11年度		135て	
	育成複層林施業	H 11年度		153れ	
	育成複層林施業(針広混交林化)	H 11年度		1002え4	

(2) フィールドの提供

ア ふれあいの森

名 称	面積 (ha)	位 置	設 定 の 目 的 等
戸隠ふれあいの森 (平成11年度設定)	605.10	1024いろろ11は〜ほへ〜へ3 と1・と2・ちりり〜り7・ぬら・む1・む2・う の1・の2・お・く1・く2・や〜ふ・こ1〜こ2・え1 〜え3・て〜み・し1〜し3・すん1〜ん6・イ ハ・ヘル・ワ・ヨ 1028い〜は・ち〜ぬ・かた〜そ・イ 1029い〜に・へ1〜へ3・へ5・と・ま 1030い〜ほ・か〜そ・う・の・イ〜ニ 1046いろろ〜ほへ1・むう・の〜け	協定相手方： 戸隠ふれあいの森 森林整備協議会 〔戸隠森林植物園ボランティアの会 NPO法人やまぼうし自然学校〕 協定期間： 平成31年度末まで (平成26年度末更新) 目 的： ボランティア団体等による 自主的な森林整備活動を行 う。
計	605.10		

イ 木の文化を支える森

名 称	面積 (ha)	位 置	設 定 の 目 的 等
道祖神祭りの森 (平成15年度設定)	15.14	135いほ	協定相手方： 地縁団体野沢組 協定期間： 平成31年度末まで (平成26年度末更新) 目 的： 地域の伝統行事である野沢 温泉村の道祖神祭りに使われ ている資材の育成を図る。
戸隠竹細工の森 (平成17年度設定)	389.97	1003ぬ 1024る・か〜れ・つひ 1025は〜へ 1026わ〜れ・の〜く・け・こみ 1029ほ・ち・り・れ・ふ 1030へ・ち〜ぬ・な〜む・る・わ・か	協定相手方： 戸隠中社竹細工生産組合 協定期間： 平成31年度末まで (平成26年度末更新) 目 的： 地域の伝統工芸品である、 戸隠竹細工用資材の保護と育 成を図る
計	405.11		

ウ 社会貢献の森

名 称	面積 (ha)	位 置	設 定 の 目 的 等
森林・林業再生モデル林 (平成23年度設定)	27.36	103732ろ3ぬ	協定相手方： 一般財団法人 C.W.ニコル・アフアンの森財団 協定期間： 平成31年度末まで (平成26年度末更新) 目 的： 自主的な森林整備活動によ り、健全な森林作りを図る。

エ 遊々の森

名 称	面積 (ha)	位 置	設 定 の 目 的 等
やまわら もり 山童の森 (平成15年度設定)	13.84	103732	協定相手方：学校法人 東京環境工科学園 協定期間：平成31年度末まで (平成26年度末更新) 目 的： 国有林野を、林業体験や自然観察等の多様な活動の場として活用を図るため設定。
計	13.84		

オ 多様な活動の森

名 称	距 離	位 置	設 定 の 目 的 等
関田トレイル (平成16年度設定)	35km (一部私有地を含む)	豊田山国有林の関田山脈平丸峠～中山峰国有林の天水山の区間の稜線	協定相手方：特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ 協定期間：平成31年度末まで (平成26年度末更新) 目 的： トレイル(森林保全巡視路)の整備、維持管理及び利用を通じて、地域の活性化に資するため。

(注) 1 関東森林管理局 上越森林管理署との三者協定。

2 関田山脈の総延長80kmのトレイルのうち、国有林が主体の35kmについて協定を締結しているものである。

カ その他

名 称	面積 (ha)	位 置	設 定 の 目 的 等
ファミリー・フォレスト・ガーデン	40.07	151さ 152いは	協定年度：平成25年度 (平成27年度末まで) 目 的： 国有林野において親子が自然と親しみ、遊び、学ぶ場を提供するため。
計	40.07		

(3) 森林共同施業団地

名 称	対 象 地 (林小班)		面 積 (ha)	連携した施業の内容	備 考
木島平村四ノ宮地域	民	36林班 38～40林班 47林班, 48林班	384	効率的な作業路網の開設及び間伐等の推進	
	国	148～151林班	466		
計			850		